

「幼保小連携通信」

夢に向かって挑戦する子ども

令和5年12月19日

令和5年度 第9号

保育課・学校教育課

幼保小連携担当

相模湖こども園 桂北小学校

～ 継続的な幼保小連携を通して ～

相模湖こども園 桂北小学校の幼保小連携

【時期】	【内 容】
4月	園と小学校の担当者の顔合わせ、年間の予定の確認
6月	幼保小連携研修 桂北小学校の授業参観・協議
7月	相模湖こども園職員が「幼保小の架け橋プログラム」について園内研修 講師：保育課指導主事 11月の交流について、園と小学校の担当者間打ち合わせ
8月	相模湖こども園 公開保育の実施・協議
11月	相模湖こども園にて子ども同士の交流 放課後：交流の振り返り
今後	桂北小学校で子ども同士の交流

公開保育後の協議では、園と学校との共通点や相違点、協同性を育む場の設定、言葉の使い方について話題になりました。今後の「架け橋期のカリキュラム」の作成に活かしていきます。

事前に園と学校とで、「ねらい」「内容」「役割分担」等について、打ち合わせをすることで、さらに有意義な交流となっています。振り返りを行い、次の交流に活かします。



11月28日（火）に、桂北小学校の1年生が、生活科で秋の自然物を使ってつくったおもちゃを持って、相模湖こども園を訪れました。

最初に、相模湖こども園の先生のピアノの伴奏で、年長児と1年生と一緒に「じゃんけん列車」や「ボール送りゲーム」で遊んだ後、1年生が準備したおもちゃで遊びました。土俵をつけたどんぐりごま、どんぐりを転がして遊ぶ立体迷路、オナモミを使った釣り、どんぐりを使った福笑いやすごろく等があり、園児はそれぞれのコーナーで遊びました。

次は、1月。相模湖こども園の年長児が桂北小学校へ行き、交流します。



遊びの説明はこども園の先生と子どもたち。
1年生の先生も一緒に遊びます。



【どんぐりごま】
土俵があると対戦が始まります。
テープで印をつけたこまはよく回るよ。



【立体迷路】
このどんぐりだとゴールできるよ。
大きさの違いで転がり方が違う？



最後は園と学校で互いに感想を交流。
「3学期にみんなが桂北小学校に来るのを待っていますよ。」という先生からの言葉も。

【相模原市保育者ステップアップ研修（幼保小連携研修）のお知らせ オンライン開催】

日 時：令和6年1月31日（水）15：00～17：00

内 容：「幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続について②」

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた架け橋期のカリキュラムの視点や交流のあり方について、講義や協議を通して学ぶ。

対象者：市内保育者（幼保小連携担当者または年長クラス担任）、希望する職員

講 師：港北幼稚園・認定こども園ゆうゆうのもり幼保園 理事長・園長 関東学院大学講師 渡邊 英則 氏

希望する学校の先生も参加できます！
学校に送付した事務連絡をご確認いただき、お申し込みください。

